毎月19日は「食育の日」です

学校給食では、「食育の日」にあわせ、旬の地場産物をふんだんに活用した献立を提供するとともに、献立を活用し、望ましい食習慣を育むための食育の取組が行われています。

岩美町立岩美北小学校

教職員が扮する食指導戦隊「タベルンジャー」が、給食時間に1年生を訪問し、食べ物の働きについてユーモアたっぷりに説明しました。

岩美町では毎年、夏休みに中学生が町内の全保育所を訪問し、タベルンジャーとして食に関する指導を行っています。1年生は、保育所からおなじみの我が町のヒーローと一緒に、すききらいせず食べることの大切さを学びました。

若桜町立学校給食センター

献立
- ごはん
- 鶏肉のカレー風味焼き
- きのこのみそ汁
- いりどうふ
- 牛乳

献立のポイント

児童生徒に募集した「地元の食材たっぷり!我が家の自慢料理」で、大賞に輝いた「鶏肉のカレー風味焼き」が、八頭郡3町の共通献立として登場しました。子どもたちが献立作成に関わることで、食への興味関心を高める機会になりました。

境港市立余子小学校

5年生が、郷土料理について学習しました。当日は、「ふるさと知事ネットワーク 学校給食交流事業(※)」に加入している山形県の郷土料理「芋煮」が献立に登場しました。子どもたちは、境港の郷土料理「いただき」をはじめ、日本全国には、地域に根ざした郷土料理があることを学びました。また、伝統的な日本の食文化のすばらしさと、今後も自分たちの手で継承していくことの大切さについて考えました。

※ふるさと知事ネットワーク 学校給食交流事業とは…参加各県(鳥取県、山形県、高知県など13県)の郷土料理を学校給食として提供することで、食文化等、子どもたちの食に関する関心を高めることを目的とした事業。

問合せ先 県教委体育保健課 電話 0857(26)7527 FAX 0857(26)7542

協力:鳥取県学校栄養士協議会

平成25年度 青谷上寺地遺跡 4コマまんが 子ども部門

優秀作品

青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会では、平成25年度に弥生時代を代表とする青谷上寺地遺跡を県内外へPRするため、イメージキャラクター及び4コマまんがを募集しました。その中から優秀作品を紹介します。

作者
鳥取市立青谷小学校
石谷 強さん

伝えたいこと
弥生時代は米作りが盛んになっていたという事。

問合せ先 県教委文化財課
電話 0857(26)7932 FAX 0857(26)8128

お知らせ・イベントコーナー

東部会場 / 中部会場 / 西部会場

事前申込が必要なものや集合場所が決まっているイベントもありますので、詳しくはお電話等でお問合せください。

開催期間	イベント名	時間	場所	問合せ先	その他
2月21日(土)～3月22日(日)	「変わりゆく郷土 定点写真で見るとっとり 1968-2013」	9時～17時	県立博物館 第2特別展示室	県立博物館 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	観覧料:一般180円(前売・団体150円) 大学生以下・70歳以上無料 ※会期中は休館日なし
2月21日(土)～3月22日(日)	知られざるプロダクトデザイナー 小島基と戦後鳥取の産業工芸	9時～17時	県立博物館 第1特別展示室	県立博物館 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	観覧料:一般600円(前売・団体400円) 大学生以下・70歳以上無料 ※会期中は休館日なし
2月21日(土)	トークセッション「戦後鳥取の産業デザインを語る」	14時～15時30分	県立博物館 講堂	県立博物館 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 対象:高校生～一般 定員:250名 申込:不要
2月28日(土)	特別講演会「日本の曲木家具の歴史」	14時～15時30分	県立博物館 講堂	県立博物館 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 対象:高校生～一般 定員:250名 申込:不要
3月 7日(土)	ギャラリートーク「小島基展」	14時～15時	県立博物館 企画展会場	県立博物館 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:一般の方は企画展示観覧料が必要(600円)大学生以下・70歳以上無料 対象:高校生～一般 定員:なし 申込:不要
3月 7日(土)～8日(日)	ちっちゃい探検隊③	7日 10時～ 8日 ～14時	船上山少年自然の家とその周辺	船上山少年自然の家 電話:0858-55-7111 FAX:0858-55-7119	参加費用:3,500円程度 対象:小学校1～3年生 申込:2月20日(金)
3月 8日(日)	伯耆往来をあるくⅡ	10時～15時	浜村駅～青谷駅	県立博物館 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 対象:一般 定員:20名(先着順) 申込:2月10日(火)～電話のみ
3月14日(土)	アートシアター「シャルロット・ペリアン」	14時～15時(上映時間56分/VHS)	県立博物館 講堂	県立博物館 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 対象:高校生～一般 定員:250名 申込:不要
3月21日(土)	アートセミナー「小島基と戦後鳥取の産業工芸との関わり」	14時～15時30分	県立博物館 会議室	県立博物館 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 対象:高校生～一般 定員:40名 申込:不要
3月21日(土)～22日(日)	親子でお泊まり会	21日 13時30分～ 22日～14時	大山青年の家	大山青年の家 電話:0859-53-8030 FAX:0859-53-8265	参加費用:一人2,500円 対象:ひとり親家庭 26家庭 申込期限:3月7日(土)必着
3月28日(土)	ギャラリートーク「コレクション展Ⅴ(後期)」	14時～14時30分	県立博物館 展示室	県立博物館 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:一般の方は常設展示観覧料が必要(180円)大学生以下・70歳以上無料 対象:高校生～一般 定員:なし 申込:不要
4月26日(日)	春の親子フェスティバル	9時～15時	大山青年の家	大山青年の家 電話:0859-53-8030 FAX:0859-53-8265	参加費用:無料(一部コーナー有料)
4月下旬	船上山さくら祭り	10時～14時	船上山万本桜公園 船上山少年自然の家周辺	琴浦町役場商工観光課 電話:0858-55-7801 FAX:0858-55-7558 船上山少年自然の家 電話:0858-55-7111 FAX:0858-55-7119	
5月9日(土)・10日(日) 両日とも日帰り	親子エンジョイカヌー	9時～15時30分	大山町 赤松の池	大山青年の家 電話:0859-53-8030 FAX:0859-53-8265	参加費用:一人800円 対象:小学生以上の親子70名 定員:20名(応募多数の場合抽選) 申込期限:4月24日(金)必着
5月23日(土)	大山ファミリー登山	8時～16時	大山下山キャンプ場集合	大山青年の家 電話:0859-53-8030 FAX:0859-53-8265	参加費用:一人50円 対象:家族50名(小学生は3年生以上) 申込期限:5月9日(土)必着

よりよい紙面づくりのために
ご意見をお寄せください。

問合せ先・送り先
〒680-8570(住所記載不要) 県教委教育総務課
TEL 0857-26-7926 FAX 0857-26-8185 E-MAIL kyouikusoumu@pref.tottori.jp

バックナンバーはホームページでご覧いただけます。 http://www.pref.tottori.lg.jp/yumehiroba

教育だより とっとり 夢ひろば! Tottori Yume-Hiroba!
Vol.76 平成27年2月
編集・発行 鳥取県教育委員会 年5回発行

目次

中学生ポップコンテスト 選考結果 …… 1
鳥取県特別支援学校技能検定開催! …… 2
PTAの特色ある取組で子どもたちの生活リズムが改善! …… 2
小中連携の取組をすすめています! …… 3
ICTを活用したアクティブ・ラーニング型授業への取組(鳥取西高校) …… 3
STOPいじめ STEPなかまづくり …… 4
今後の高等学校教育の在り方・特別支援教育の在り方について県教育審議会から答申を受けました! …… 4
シリーズ 県立高校の取組(米子白鳳高校) …… 5
シリーズ 鳥取県のエキスパート教員(船岡小学校 盛田里美教諭) …… 5
シリーズ プロ(文化財主事)が教える文化遺産のツボ! …… 5
<子ども県政コーナー> 原子力災害への備え …… 6・7
<トピックコーナー> …… 8
●毎月19日は「食育の日」です
●青谷上寺地遺跡4コマまんが
●お知らせ・イベントコーナー

本でつなぐわたしたちの未来プロジェクト2014 中学生ポップコンテスト 選考結果

鳥取県教育委員会では、「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン(第3次計画)」(H26.3策定)に基づく子どもの読書推進施策の一環として、読書離れの傾向が見られる中学生が自ら本を読み、その大切さや楽しさを感じることを目的として「中学生ポップコンテスト」を行い、このほど最優秀作品が決定しました。

ねらい

「本を読み、ポップで表現する」ことと、「その本を薦めた、今、社会の第一線で活躍する人物に直接話を聞く」という2つの経験を通して、次の点を子どもたちに伝えます。

(1)読書の大切さ、本を読むことが「未来の自分」にどのように影響するか
(2)夢を叶えるための努力の大切さ、厳しさ、喜びなど
(実施時期)平成26年10月～11月
(応募作品数)116点

1 推薦図書を読みポップを応募
2 最優秀作品に選ばれると!
3 推薦者に会ってインタビュー!
- 推薦図書は、どんな影響があったか?
- 現在の職業を目指したきっかけ、どんな努力をし、どんな挫折を経験したか?

4 本を読む意義、大切さを体感!

推薦図書と最優秀賞受賞者

本の推薦者	推薦図書	最優秀賞受賞者
萩原智子さん(シドニー五輪競泳日本代表)	ごんぎつね(新美南吉 著)	寺西 勇裕さん(湯山中学校3年)
		成川 佳奈さん(中ノ郷中学校3年)
	HUG!Friends(写真:丹葉暁弥／物語:ひすいこたろう)	野口 涼子さん(中ノ郷中学校3年)
		森本 如葉さん(国府中学校3年)
	赤い指(東野圭吾 著)	井山 咲良さん(福米中学校3年)
		住田 英祐さん(福米中学校3年)
音田貴之さん(境港市「ボヌール」洋菓子店チーフパティシエ)	五体不満足(乙武洋匡 著)	宮本 涼華さん(中ノ郷中学校3年)
平井伸治さん(鳥取県知事)	夏草冬濤(井上 靖 著)	安住 玲那さん(中ノ郷中学校1年)
	路傍の石(山本有三 著)	角脇 奈摘さん(後藤ヶ丘中学校3年)

最優秀作品

インタビュー第1弾!

日にち:1月20日(火)
場所:鳥取市立中ノ郷中学校

メインインタビュアー
中ノ郷中学校3年 宮本 涼華さん(「五体不満足」最優秀賞受賞者)
(ほか3名の受賞者(成川さん、野口さん、安住さん)もサポート参加)

インタビューを受ける人
境港市「ボヌール」洋菓子店 チーフパティシエ 音田 貴之さん
(2013年、国内最大の洋菓子コンクール「ジャパンケーキショー東京」マジパンデコレーション部門銅賞入賞のほか、数々のコンクールで入賞している若手パティシエ。鳥取県洋菓子協会理事も務める。)

音田さんに直撃インタビュー!(主な内容を抜粋してお伝えします)

Q.パティシエを目指したきっかけは?どんな努力をしたのですか?(宮本さん)

A.家業が洋菓子店。周囲の期待に応えたい気持ちもあった。パティシエの世界は厳しいです。辞めていく人も多い。菓子職人にセンスは必要だし、センスを持って生まれた人もいますが、自分は「センスは身に付けるもの」だと思っています。それが「努力」ということ。

Q.中学生になって勉強も部活も忙しいが、本を読むことは大事だと思っている。音田さんはどんな中学生でしたか?(宮本さん)

A.部活に熱中していました。今、言えることは、勉強でも部活でも自分がやりたいこと、好きなことを「とことん」やることが大事ですね。

左:宮本さん 右:音田さん

Q.おいしいケーキ作りで大事なことは?(成川さん)

A.「丁寧に、基礎どおりやること」に尽きます。好きだから作るケーキと仕事で作るケーキとは違う。常にレシピに忠実に、きちんとやること。手を抜きたいな、と思ったときこそ手を抜かない。それが仕事です。

インタビューを終えて

インタビューを終えて・宮本さんの感想

「五体不満足」の素晴らしさを伝えたくてポップコンテストに挑戦しました。この本を、今、「自分はここまでしかできない。」と思っている人に読んで欲しい。音田さんとの話で印象に残ったのは、「センスは身に付けるもの、それが努力だ」という言葉。自分もがんばっていきたいです。

※萩原智子さん、平井知事へのインタビューは3月中旬に実施予定です。

問合せ先 県教委社会教育課 電話 0857(26)7943 FAX 0857(26)8175